

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2014. 1. 20

下水道機構の『新技術情報』 第125号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今日は、二十四節季最後にあたる「大寒」です。その名のとおり今朝はとても寒くてなかなかお布団から出られませんでした。大寒の次は「立春」です。そろそろ寒さの中に小さい春を見つけることができるかもしれませんね。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第125号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

#### ◆◆◆トピックス◆◆◆

##### ■インフォメーション

- ・1/16(木)に Web 版機関誌「下水道機構情報 plus+」第5号を配信しました！

##### ■機構の動き

- ・今週は、特に予定はありません

##### ■Tea Break

- ・時を確認する効果！？(資源循環研究部 Y.O さんからの投稿です)

##### ■まる子のゆいまーる♪

- ・本日は、山口県へ出張した職員からの投稿です！

##### ■国からの情報

- ・1/17 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

#### ●1/16(木)に Web 版機関誌「下水道機構情報 plus+」第5号を配信しました！

パソコンの設定等によっては、ご覧いただけない場合があります。この場合は、お手数をおかけしますが、次のアドレスにアクセスしてご覧ください。

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140116/index.html>

。○。○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○。○。

○平成 26 年 1 月 29 日(水) 9:30~17:30

行 事 : 平成 25 年度第 2 回審査証明委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

議 案 : 平成 25 年度 建設技術審査証明(下水道技術)の各依頼技術の報告書の審議、および質疑応答、答申

○平成 26 年 2 月 7 日(金)【大阪会場】13:00~16:45

平成 26 年 2 月 14 日(金)【東京会場】13:00~16:45

行 事 : 第 19 回新技術研究発表会

詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-info>

---

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

---

。○。

●時を確認する効果!?(資源循環研究部 Y.O さんからの投稿です)

最近、腕時計をしている人をあまりみかけない気がします。

通勤の電車の中で同じ車両内を見ても多くの人が、腕時計をしていなかったりし

ます。特に、女性に多く腕時計をしていない人が多いように思えます。

最近では、携帯電話に時計機能がついているため、腕時計をしない人が増えてきたのかなと思う。腕時計をしていない人の多くは、きっと「携帯電話で確認できる」ことから、腕時計は不要」ということだと思います。

一部の時計コレクターの人たちを除き、「腕時計」の在り方が、変わってきているのかなと思う。私も以前は一時期腕時計をつけていない時期があった。しかし、年齢的なことを考えると腕時計をした方が良いのかもと思い、一昨年に店頭でみかけて気になった腕時計を購入した。

腕時計を身につけてから、日々の仕事のモチベーションを上げられたり、誇らしい気持ちにもなる。逆に OFF の日は時計をしないことでリラックスしている。仕事中でもお気に入りの時計をふと眺めては癒されている。

腕時計は、“時を知るための道具”だけれどもきっと、それだけではない気がします。腕時計をしない派の方も、「一生もの」とは言いませんが、一度お気に入りの腕時計をすることで色々な効果をもたらすかもしれません。

---

。○。

まる子の結まーる (皆様との交流の場です)

---

。○。

●本日は、山口県へ出張した職員からの投稿です!

※詳細はこちら → <http://www.jiwet.or.jp/yuimaru2014-1-20>



通信教育システム～雨道場～（仮称）事務局 担当 和田宛」にメールにてご連絡をお願いします。

（事務局 E-mail）

[g\\_CRB\\_GSD\\_RYK@mlit.go.jp](mailto:g_CRB_GSD_RYK@mlit.go.jp)

○ストックを活用した都市浸水対策機能向上のための新たな考え方（中間とりまとめ）について【流域管理官】

「ストックを活用した都市浸水対策機能向上検討委員会」においては、今年度7月の第1回会議以降、ストックを活用し、ハード・ソフト対策を組み合わせ、より効果的かつ効果的な浸水対策の確立及び実施について、調査・審議を重ねてきたところです。

この度、ストックを活用した都市浸水対策機能向上のための新たな基本的考え方を中間とりまとめとして公表しましたのでお知らせ致します。中間とりまとめは、国土交通省 HP で公表しております。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000314.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000314.html)

※中間とりまとめの意見募集について

最終とりまとめに向け、下水道に携わる多くの方々等から幅広いご意見を頂き、それらのご意見を踏まえてさらなる検討を行うことを検討しております。本中間とりまとめ等に対してご意見等がございましたら事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

・ 募集期間：2月10日（月）17：00 まで

・ 提出方法：電子メール

・ 提出先：国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付内

ストックを活用した都市浸水対策機能向上検討委員会事務局

[g\\_CRB\\_GSD\\_RYK@mlit.go.jp](mailto:g_CRB_GSD_RYK@mlit.go.jp)

○第1回「水の再利用」に関する ISO 専門委員会の開催と水の再利用に関する国際ワークショップについて【流域管理官】

日本が、水分野では初めての幹事国となった「水の再利用」に関する ISO 専門委員会（TC282）第1回会議の開催（1月23、24日）及び水の再利用に関する国際ワークショップ開催（1月22日）についてお知らせします。

水の再利用の国際標準化については、気候変動に伴う地球規模の渇水リスクの高まり等を背景に世界の水市場が拡大する中で、膜処理技術等の我が国の再生水技術が国際的に優位性を有することに鑑み、同技術に関する国際標準規格を我が国が主導で策定することにより、同技術の海外展開等、国際競争力の強化を図ることを目的として、本年6月にTC282を設置し、水分野で初の幹事国を取得したところです。

東京で開催される第1回TC282を皮切りに、国際標準化の取組を精力的に推進してまいります。

なお、ワークショップは公開で行いますので参加希望等詳細は下記をご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13\\_hh\\_000228.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000228.html)

○【締切間近！】よりよい水環境創造のための実証実験を募集しています！

～国土交通省との段階的・高度処理の共同実証実験～【流域管理官】

人口 20 万人未満の一般市、町村を対象に、平成 26 年度夏季から 1 年間（予定）にお

ける国土交通省との段階的・高度処理共同実証実験について、1 月 22 日までの間、募集をしています。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000313.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000313.html)

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP 等をご確認ください。

■より一層の汚濁負荷削減に貢献する下水処理技術の募集について【流域管理官】

(2 月 14 日まで)

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000315.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000315.html)

→1 月 10 日掲載

■下水道新技術研究発表会の開催について【下水道機構】

(2 月 7 日（大阪）、2 月 14 日（東京）開催)

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-form>

→1 月 10 日掲載

■「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」

説明会の開催について【全国上下水道コンサルタント協会】

(2 月 17 日（東京）、2 月 21 日（大阪）開催)

[http://www.suikon.or.jp/seika/file/seminar\\_20140217.pdf](http://www.suikon.or.jp/seika/file/seminar_20140217.pdf)

→1 月 10 日掲載

■都道府県構想策定マニュアル説明会の開催について【下水道事業課】

(2 月 13 日開催)

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000277.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000277.html)

→平成 25 年 12 月 27 日掲載

■「下水汚泥などのバイオマス資源有効活用技術講習会 in 熊本」の開催について

【土木研究所】

(2 月 6 日、7 日開催)

<http://www.pwri.go.jp/jpn/news/2014/0206/session.html>

→平成 25 年 12 月 27 日掲載

=====

【参考情報】

◆下水管液状化対策 埋設実験、報道陣に公開 つくば・国総研<1/10 茨城新聞>

[http://ibarakinews.jp/news/news.php?f\\_jun=13892718222861](http://ibarakinews.jp/news/news.php?f_jun=13892718222861)

◆大分県の河川環境保全事業 流域全体で施策<1/10 大分新聞>

[https://www.oita-press.co.jp/localNews/2014\\_138931512497.html](https://www.oita-press.co.jp/localNews/2014_138931512497.html)

◆美浜町のハザードマップ作り進む<1/11 日高日報>

<http://www.hidakashimpo.co.jp/news/2014/01/post-1092.html>

◆千種の水害記録やハザード模型展示 栄栗市役所<1/15 神戸新聞>

<http://www.kobe-np.co.jp/news/seiban/201401/0006637146.shtml>

◆高知市、地区別避難計画が完成 南海トラフ<1/16 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kochi/news/20140115-0YT8T01112.htm>

---

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→<http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>

---